

巻頭言

大学における人材養成



教育学部長
金子 勲 榮

近年の少子化に伴う教員採用数減少もあり、今後3年間で国立大学の教員養成規模を約3分の2に縮小するという。我が国の巨大赤字の原因がどこにあるかは、敢えて触れないが、今回の財政構造改革では、聖域を設けないが、メリハリをつけるという。深刻な事件等をきっかけに、一方で、教育の重要性、人間性の回復が強調され、教員の資質向上を目指す教育職員養成審議会の審議等もあり、最近の動きは複雑である。文部省の説明を受けつつも、スタートしたばかりの新組織の成果が明らかにならない今、更なる改革を考えることは異常であり、その実行は当然困難である。教員養成に関わる者としては、この計画の不当性を主張しながらも、現実的に何らかの対応をせざるを得ない状況にある。開き直って、このような厳しい環境下にある時こそ、質の高い教員養成を構想し実現できると考えたい。

大学における人材養成に関して特に社会的要請が強調されるが、

現代社会が求める人材養成には、慎重でなければならない。金沢大学を卒業し社会で活躍する人材は、物心両面で社会を豊かにできる人材であり、自分自身も豊かに生きることのできる人材でなければならない。教育学部に籍を置く者としては、長期的視野に立ち、子どものみならず人間の成長・発達に関心を持たざるを得ないし、さまざまな教育現場で、自分自身も充実感を感じつつ、人間の健やかな成長を支えることのできる教育者の養成を目指したい。我が国にとって、この選択が正しい選択であったか否か、かなり後になって回答が出る。そして、我々の努力が評価されることになる。

今月の表紙写真

Cover Photo

沢田敏男氏((財)国際高等研究所長)を招いて 本年度初の「金沢大学フォーラム」

(関連記事は3ページ)



「新世紀に向けての学術研究」の講演を行う沢田氏
=事務局大会議室で(5月21日撮影)

大学院自然科学研究科改組を祝う

(関連記事は2ページ)



記念祝賀会であいさつする花岡美代次自然科学研究科長
=北福利施設(角間)で(5月26日撮影)





“ 自然科学研究科改組記念式及び記念祝賀会 ” を挙行

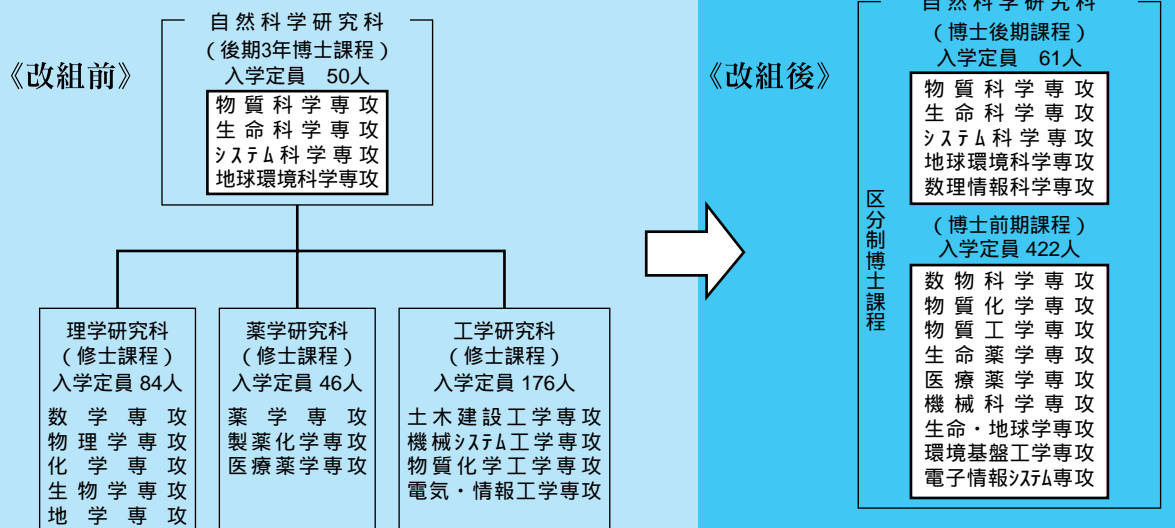


記念祝賀会で歓談する関係者たち
= 5月26日夕方、北福利施設で

組織を改組して本年度から新しくスタートした大学院自然科学研究科(花岡美代次研究科長)の「改組記念式及び記念祝賀会」が、5月26日に北福利施設(角間)で行われ、約60人の教職員が集まって、区分制博士課程としての再スタートを祝った。
(なお、同研究科の新組織については下記の組織図を参照)

記念祝賀会関連の写真もう一枚を表紙にカラーで紹介

自然科学研究科の組織改組(平成29年度から)関係図



“ 教育学部自然教育研究センター(実習農場)が四十万から角間へ ”

5月23日、新しい“教育学部自然教育研究センター”(実習農場)において、移転披露式が行われ、関係者約40人が集まって移転を祝った。

同センターは、“暫定実習農場”として角間キャンパス東南にある理学部附属植物園の隣に完成した。研究実験棟、実習棟、温室(ガラス室)を備えており、実験園場の造成を終えた後、四十万地区から移転したものである。



施設の説明をする大川勝徳教授(左から二人目)
= 5月23日午後、“自然教育研究センター”のガラス室で





平成9年度金沢大学フォーラム(第1回)で

「新世紀に向けての学術研究」を考える



日本の学術研究の在り方が探られたフォーラム
= 5月21日午後, 事務局大会議室で

フォーラム関連の写真もう1枚を
表紙にカラーで紹介

5月21日, 事務局大会議室において「平成9年度金沢大学フォーラム(第1回)-特別講演-」が開催され, 約100人の教職員が受講した。

今回は, 講師として(財)国際高等研究所長の沢田敏男氏を招き, 「新世紀に向けての学術研究」と題した講演が行われた。



特別講演を前にして芳名録に記帳する沢田氏(右)
= 同左, 学長室で

日本海域研究所

「ナホトカ号重油流出事故に関するシンポジウム」を開く

教官・研究者グループが多数の研究成果を披露

5月9日, 工学部秀峯会館(小立野)で, 本学「日本海域研究所」(所長: 岡田晃学長) 主催による講演会とシンポジウムが行われた。

今回は市民への公開の形で開催されたが, 特にシンポジウムでは, ロシアタンカー「ナホトカ号」の沈没による重油流出事故に関係して, 11人からの研究発表が行われた。発表の中では, “オイルフェンス” や “海面活性剤” に関してスライドや標本も使われ, 約70人が耳を傾けた。



シンポジウムで基調講演を行う石田啓教授(工学部, 日本海域研究所運営委員会委員長)
= 5月9日午後, 工学部秀峯会館中集会室で



大学等と企業による就職情報交換会

大学と企業との間で就職情報を交換

5月21日、金沢市内のホテルで、県内外の大学等29校の就職担当者と県内企業69社の人事担当者100人余が出席して、恒例の「就職情報交換会」が行われた。

これは県内への就職促進を目的に石川県などの主催で開催されているものであるが、今回は特に就職協定廃止直後とあって、企業と大学の双方が戸惑いを感じる中の情報交換となり意義があった。



大学や企業の実情が語り合われた就職情報交換会
=5月21日午後、金沢東急ホテル(金沢市香林坊)で

医学部附属病院

「ふれあい看護体験'97」を実施



心を込めて患者さんの髪を洗う一日看護婦さん(左)
5月13日午前、医学部附属病院第2病棟3階で

看護週間(5月11日～17日)を記念して、5月13日、医学部附属病院(宝町)において、「ふれあい看護体験'97」が行われた。

参加した東浅川校下婦人部の主婦2名は、眼科病棟と耳鼻咽喉科病棟で「爪きり」や「洗髪」などを体験した後、「患者さんとのふれあいを通して、貴重な体験ができました。」「看護婦さんの患者さん一人ひとりに対する細かな気配りに感心しました。」などと感想を述べていた。

附属学校で各種の行事を開催

附属幼稚園 で避難訓練

5月16日、教育学部附属幼稚園において避難訓練が実施された。出火のアナウンスが入ると、園児たちは先生の誘導に従い、すばやく避難した。



先生に誘導されて避難する園児たち
=5月16日午前、附属幼稚園(平和町)で

附属小学校 附属中学校 とでそれぞれ研究発表会

教育学部附属小学校(5月29・30日の両日)と同中学校(30日のみ)で教育研究発表会が催された。小学校では有田和正・愛知教育大学教授が「総合学習としての国際理解」と題した公開授業が、また、中学校では「国語」、「数学」、「理科」の三教科を通じて同一テーマでの「リレー授業」が、それぞれ行われた。



吉田貞介教授(教育学部)のコーディネートで行われたシンポジウムの様子
=5月30日午後、附属小学校(平和町)体育館で



「これからの教育課程のあり方」と題して行われた山際隆教授(富山大学教育学部)の講演
=同左、附属中学校(平和町)体育館で

5ページ
下段へ
続く



5月の全国・ブロック会議

本学が当番で開催した全国又は地方ブロックの会議

国立学校事務電算化協議会

5月27・28日の両日、市内のホテルなどを会場として「平成9年度国立学校事務電算化協議会」が開かれた。

同協議会には、文部省及び本学を含め16大学等から約40名が参加し、事務電算化の推進について熱心に意見を交換した。



会議の開催に当たってあいさつする文部省大臣官房政策課の柴山盛生もり盛情報処理室長
= 5月27日午前、金沢東急ホテルで

5月の研修スナップ

平成9年度語学要員養成研修

期 間：平成9年5月6日～平成10年3月16日
受講者：5コース合わせて37名
場 所：本学及び語学学校(イーオン金沢校及びアリス語学研修センター)



研修初日の「英語初級コース」の風景
= 5月6日午後、事務局第二会議室で

附属高等学校

で交通安全教室

5月29日、教育学部附属高等学校で、毎年恒例の交通安全教室が開かれ、生徒たちが金沢中警察署員から自転車の正しい乗り方などについて指導を受けた。



金沢中警察署員から説明を受ける生徒たち
= 5月29日放課後、附属高等学校 平和町 体育館で

平成9年度初任者研修

期 間：5月20日～23日
受講者：平成9年5月1日までに採用された事務・技術系新規採用者32名
場 所：事務局大会議室及び辰口共同研修センター



「接遇」の中で電話による対応の実習を受ける受講者
= 5月21日午後、辰口共同研修センターで

渡邊洋宇教授(医) 清水立生教授(工) に“石川テレビ賞”

5月20日、第19回石川テレビ賞の贈呈式が金沢スカイホテル(金沢市武蔵町)で行われ、本学からは渡邊洋宇教授(医学部)と清水立生教授(工学部)が受賞した。渡邊教授は、肺がんの治療と基礎的研究における成果が、清水教授はアモルファス半導体の基礎物性に関する研究成果が、それぞれ認められたものである。



このたび石川テレビ賞を受賞した渡邊教授(医)〔左〕と清水教授(工)

角間川沿いに “若松ロードパーク”(約1.3km)が完成

このほど、県道金沢・井波線の角間川沿いに“若松ロードパーク”が完成した。同パークは、土砂災害の安全確保とともに、大学への緑豊かなエントランスゾーンの創出を目指して、石川県が平成5年度から整備を進めていたもので、全長は約1,300mである。川辺に降りる緩やかな階段や、水の音を聞きながら散歩できる遊歩道なども造られ、くつろぎの場となっている。



このほど完成した“若松ロードパーク”
= 金沢市若松町の角間川左岸で



紹 介

Introduction

資料館コレクション(その8)

「**養 正**」
まへだとしなり
(前田利為(1885~1942)書)

前田利為は、明治18(1885)年七日市前田家(現在の群馬県にあった加賀前田家の分家)十二代利昭の四男として生まれ、幼名を茂という。加賀前田家十五代利嗣には後嗣の男子がなく、茂は明治33(1900)年15歳で同家の養子となり、利為と改名、十六代当主となった。

陸軍大学校を卒業した彼は、第一次世界大戦中に武官としてドイツに留学するなど、ヨーロッパ各地を視察した。その後、陸軍大学校長、第八師団長を経て、第二次世界大戦ではボルネオ守備軍司令官として出征したが、昭和17(1942)年に57歳で戦死した。

作品「養正」「養」の字は「羊」と「良」とが分かれた変体となっている。は、石川師範学校に掲げられたもので、城内鶴丸倉庫での保管を経て、現在は本学の資料館にある。作品のいわれは定かではないが、どっぴりとした大らかな筆致を感じ取ることができる。



養 正

制作年：不詳
種 類：墨書
寸 法：94×238cm
現在、資料館展示室で展示中



5月26日(月)管理委員会決定

学長候補者選挙日程

- 6月 2日(月) 選挙公示
- 6月 3日(火) この日までに、推薦委員会委員を学長に届出
- 6月 9日(月) 第1回推薦委員会
- 6月 17日(火) 第2回推薦委員会
- ” 推薦候補者を管理委員会へ通知
- 6月 18日(水) 第2回管理委員会
- 6月 19日(木) 選挙人名簿の縦覧(6月23日まで)
- 6月 23日(月) 推薦候補者の公示
- 6月 24日(火) この日までに、投票立会人及び開票立会人を管理委員会へ届出(各学部及びがん研究所から)
- 7月 2日(水) 第1回投票 10時~13時
第3回管理委員会
- 7月 3日(木) 第2回投票 10時~13時
第4回管理委員会
- 7月 4日(金) 第3回投票 10時~13時
第5回管理委員会

当選人が決定した日に、臨時評議会を開催する予定

健寿会総会に約110名が参集

5月30日、事務系退職者で組織している「金沢大学健寿会」の総会が石川厚生年金会館(金沢市石引)で開催された。当日は、約300名の会員のうち約110名が出席し、久しぶりの再会をなつかしみながら在職当時の思い出話などに花を咲かせた。



懐かしい話題で盛り上がった懇親会
= 5月30日午後、石川厚生年金会館で

ふ 訃 報

去る5月6日、岡部隆雄がん研究所事務長がお亡くなりになりました。岡部氏は、本学の学内広報紙である「事務通報」や「学生部だより」の発行にも携わってこられ、文部省の広報紙コンクールでは計3回にわたって「優秀賞」受賞に大きく貢献されました。

ここに御報告するとともに、謹んで御冥福^{めい}をお祈りいたします。



おかべ たかお
岡部 隆雄 氏
(がん研究所事務長)

5月6日逝去
享年56歳

訂正

第13号(1997.5)Bページ下段の写真説明文に次の誤りがありました。おわびして訂正します。

(誤) (正)

「医療部附属病院」 「医学部附属病院」
(2か所)

編集後記

年中で最も日の長い頃となった。気温が一番高くなるまでに1か月以上かかる点は、仕事の成果が遅れて現われるのに似ている。大学院自然科学研究科改組や“教育学部自然教育研究センター”移転など大学にとってうれしい動きがある一方、私にとって恩師とも言える岡部事務長の死はとても悲しい出来事であった。葬儀の場では磨伊がん研究所長の弔辞もあり、その中で、岡部事務長は病床にありながらも、がん研究所の将来を語る時には目が輝いていたことが述べられていたが、強い信念を持つことと夢をひた

向きに追う精神は受け継いで行きたい。

このページに「訂正記事」を創刊以来初めて掲載することになってしまったが、これを反省しつつ、これからもより繊細にかつ大胆に「アカンサス ニュース」を編集したいと考える。

なお、平成9年6月から電話の金沢市内局番が3桁となったことに伴い、本紙奥付けや各種印刷物でそのように表示し始めた。

(池端)



このページには、カラーで紹介するのにふさわしい写真を集めてあります。



空から見た我がキャンパス(その1)

大学のキャンパスも建物新築等により年々姿を変えるものです。読者の皆さんに、本学各キャンパスの最新の姿をお見せすべく、このほど航空写真撮影会社に依頼して空撮を試みました。本号から順次ご紹介していきます。



太陽が丘付近上空から卯辰山方向を臨んで(平成9年5月撮影)
総合移転第一期計画事業も無事完成した角間キャンパス(206.7ha)。写真中央左寄りには第一期用地となる緑の丘陵が広がる。

留学生スナップ

異国で文化の香り

生け花を楽しむ「日本語研修コース」及び「日本語・日本文化研修コース」の外国人留学生。
5月8日午後、中村記念美術館(金沢市本多町)で



作品募集

金沢大学創立50周年記念事業シンボルマーク募集
創立50周年を記念し、新しい課題に挑む大学を象徴するマークを募集します。

締切り = 平成9年6月30日

担当係 = 庶務課総務係(内線5010)

「金沢大学ホームページ」“愛称”募集

2月14日に公開された「金沢大学ホームページ」の愛称を募集します。

締切り = 平成9年8月31日

担当係 = 庶務課企画係(内線5014)

平成9年6月20日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-11 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

